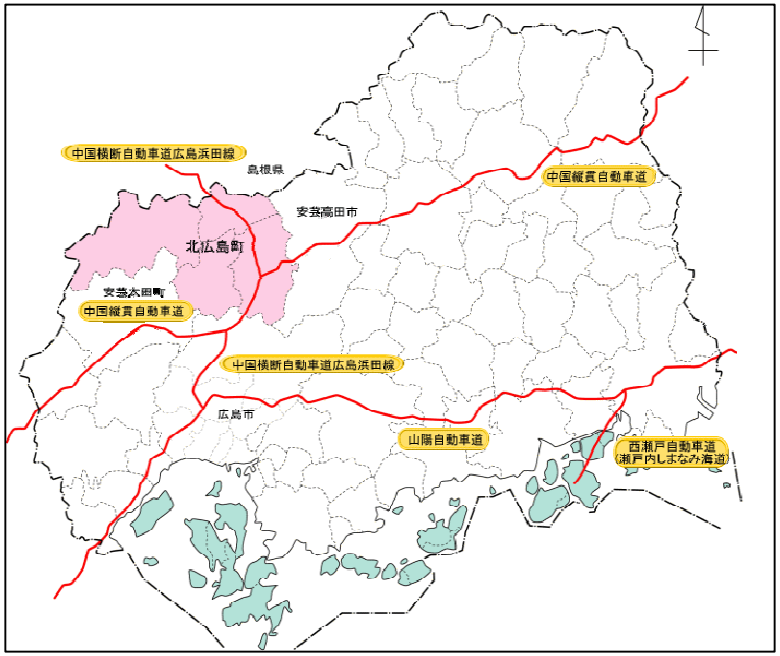
北広島町 四季物語

〒731-1533 広島県山県郡北広島町有田1122
広島県　北広島町農山村体験推進協議会
E-mail kankou@town.kitahiroshima.lg.jp
Tell 0826-72-7368　Fax 0826-72-5242

北広島町の概要



協議会の構成

北広島町農山村体験推進協議会は、平成20年に設立し、今年で17年目を迎えます。

北広島町役場と北広島町観光協会が共同で運営を行っています。

受入可能人数

最大受入人数１００人（３クラス）

令和7・８年度拡大予定
最大受入人数１１０人（３クラス）

北広島町の概要

平成 17 年（2005）年 2 月 1 日合併により誕生（芸北町・大朝町・千代田町・豊平町の旧4 町が合併）。町面積646.20k ㎡は、町としては中国地方一の広さ（日本一広い町は北海道足寄町 1,408.04 k ㎡）。中国自動車道の IC が 2 つ有り、広島市中心部から約 50 分でアクセス可能。隣接する市町は広島市・安芸高田市・安芸太田町・島根県の益田市・浜田市・邑南町。

北広島町の自然

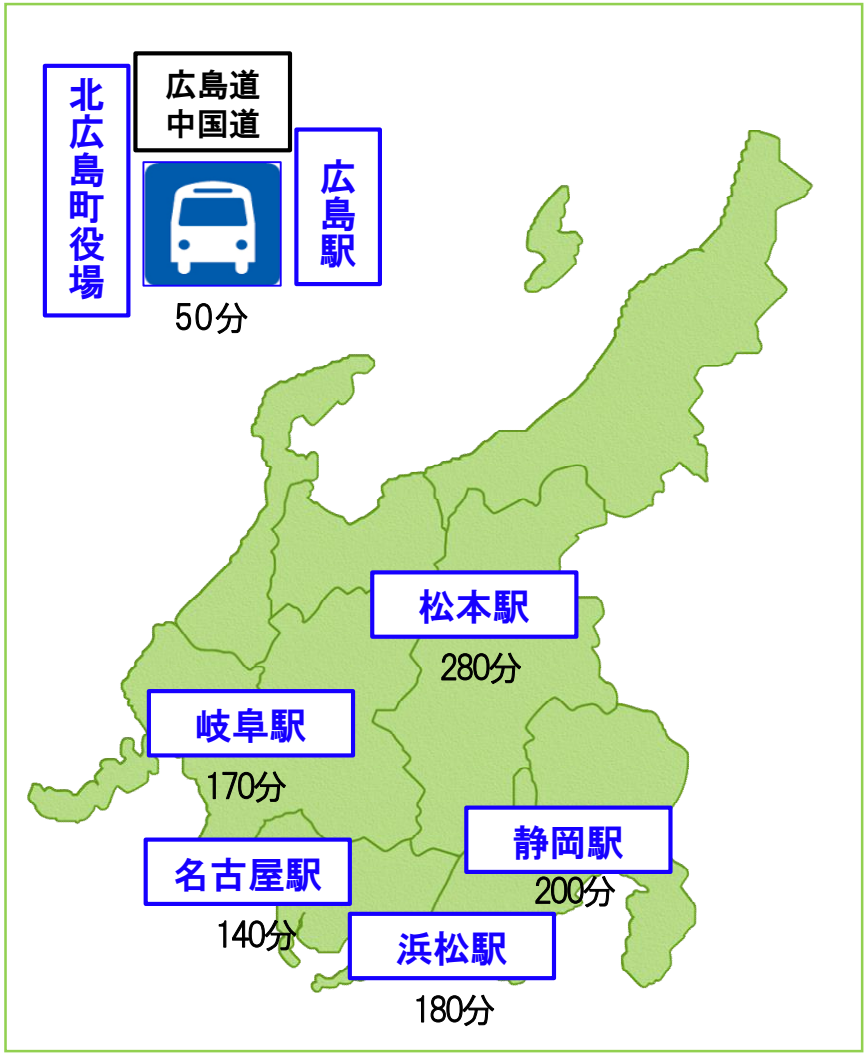
太田川・江の川の源流域。中国山地に位置し、面積の 8 割以上は森林地帯。北西部の芸北地域は 1,000m級の山が連なる（町内最高峰は芸北地域の苅尾山 1223.4m）。国立公園の一部である八幡湿原がある芸北地域は 2mの雪を記録する事もある豪雪地帯。八幡湿原は、乾燥し湿原としては危機的状況であったが、環境省の湿原自然再生事業を利用し、地域住民行政が一体となった活動で湿原として再生した。南東側は標高200mの盆地地帯。カワシンジュガイやオオサンショウウオ等の貴重な生物の保全や、草原の環境保全として山焼きを行う等、住民による自然保護活動が盛んである。

教育旅行実績（令和6年12月1日時点）

年度	修学旅行 学校数	修学旅行 生徒数	県内小学校 学校数	小学校 生徒数	インバウンド 学生団体数	インバウンド 生徒数
H20	-	-	5	270	-	-
H21	-	-	7	327	3	81
H22	-	-	2	33	5	114
H23	-	-	10	324	2	46
H24	-	-	12	449	2	55
H25	-	-	22	1,103	1	11
H26	-	-	40	1,835	0	0
H27	3	280	28	1,128	3	42
H28	8	784	31	1,040	2	49
H29	7	646	24	724	3	56
H30	10	1,078	31	809	9	247
H30／R1	7	861	27	649	6	137
R2	1	148	2	59	0	0
R3	0	0	14	583	0	0
R4	2	173	17	334	0	0
R5	9	792	19	437	8	189
R6（予定）	13	1，032	15（18）	394（422）	2（4）	95（146）
合　計	60	5，794	306（309）	10，498 （10，526）	46（48）	1，122 （1，173）

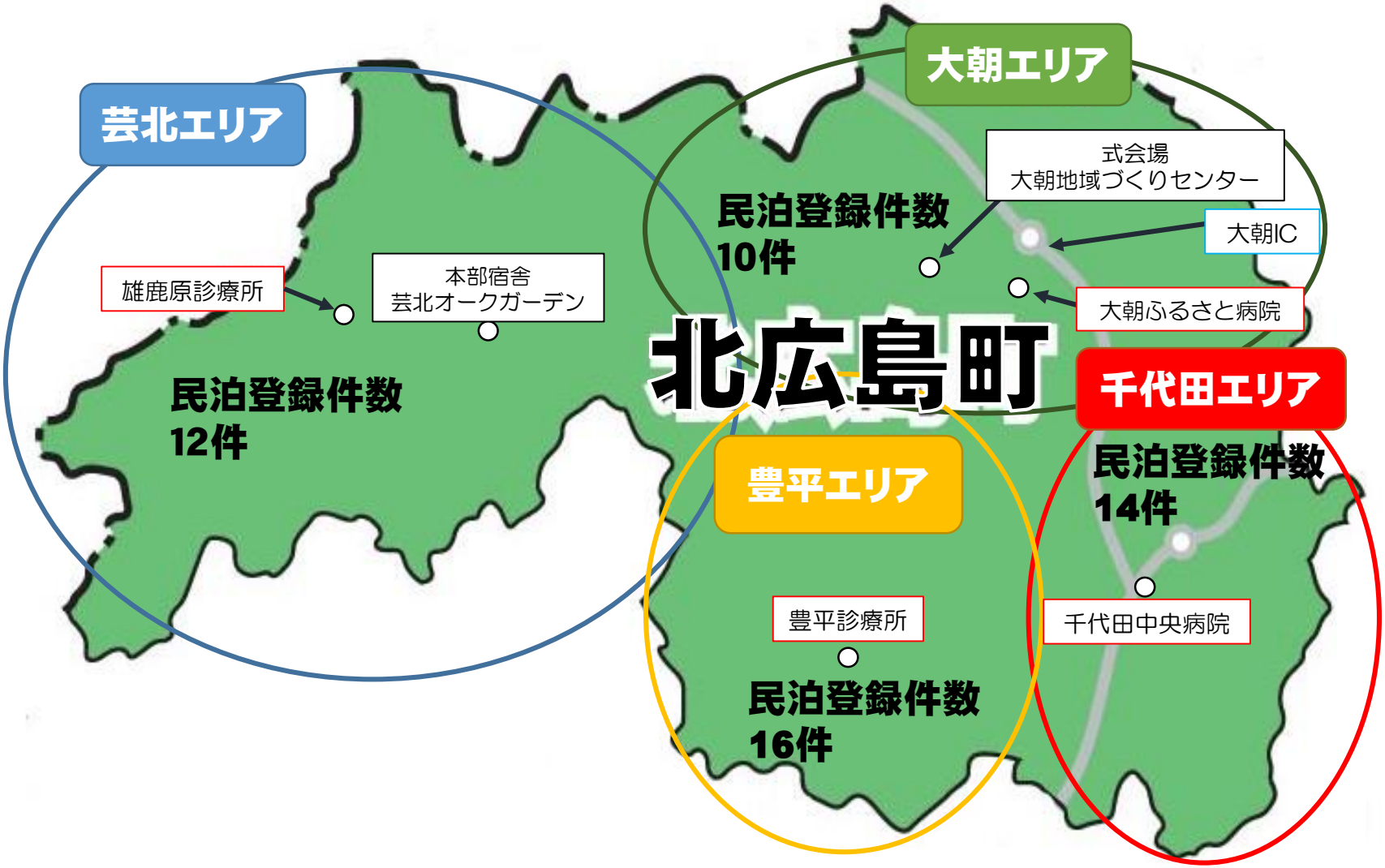
北広島町へのアクセス

広島駅から北広島町まで50分。広島への修学旅行では欠かせない宮島・平和記念公園にも好アクセス！



受入地域マップ

令和6年12月1日時点



大朝IC～芸北オークガーデンまでおよそ40分です

民泊体験の流れ

1．対面式

2.家業体験

農作業や家畜の世話、障子の張替えなど
体験内容は家庭によって様々です。

3．共同調理

地元の食材を使い一緒に料理
を作ります。

4．お別れ式

生徒さんの感想

- 都会ではできない、自然の中での様々な体験ができてとても楽しかった。また行きたい！
- 農作業は大変だったけど、楽しいことも知れた。
- 夜空一面に広がる星は、人生で一度も見たことがなかったのでとても感動した。

おすすめの選択別体験プログラム

①神楽体験

広島を代表する農耕文化・神楽のエネルギーを体験することができます。

受け入れ可能人数　100人
実施時期　通年

北広島町で盛んな神楽は、元々秋の収穫に感謝し秋祭りの際に神様に奉納する神事でしたが、その娯楽性の高さから人気が高く、今では広島県の観光コンテンツとして広島市の中心部で毎週上演されるほか、海外公演も行われており、いずれも満員となるなど高い評価を得ています。
神楽どころ北広島町では、実際に神楽をホールや神社、公民館などで鑑賞し、神楽を支えている団員・地元住民から直接話を聞くことができます。どのような思いで神楽を守り、伝え、発展させてきたかを直接知る機会は他にはありません。➡ **伝統芸能神楽体験・伝統見つめ直しプログラム**

②被爆体験講話

被爆者の生の声を聞くことができるタイムリミットが迫っています。北広島町では、被爆体験講話を行えます。

受け入れ可能人数　100人
実施時期　通年

広島に原爆が投下された日から80年が経過しようとし、被爆者のみなさんも高齢化が進んでいます。
被爆者の生の声が聴けるのは今しかありません。北広島町では、地元にお住いの被爆者の方々と協力し、対話形式で被爆体験を学べる講話を実施しています。生徒数に応じて講師と会場を手配し、体験談を聞くことができます。

➡ **被爆体験講話**

③農業体験

宮島にお米を納めていた米どころ北広島町で、農業体験ができ、地元で収穫された米の美味しさを味わえます。

受け入れ可能人数　100人
実施時期　4月～10月

かつて宮島の荘園だった北広島町は、現在も農業が盛んな地域です。
春にはユネスコ無形文化遺産に登録されている『壬生の花田植』をはじめとする田植えの祭りや田楽が各地で開催され、秋には収穫を祝う奉納神楽が集落ごとに行われています。これらの伝統行事を通じて農作業体験で一次産業の実態を学ぶことができ、また農家民泊では農業体験から、農家の生活を知ることができます。

➡ **農作業体験・家業体験**

北広島町の魅力と課題　SDGs探求学習テーマ

魅力

①神楽団体数が日本最多

北広島町は、神楽団体数で日本一を誇る町です。ここでは、神楽が地域コミュニティの核となり、大切な町の文化です。また、若者が集う場としても重要な役割を果たしています。

②平和の尊さを学ぶ

北広島町では、地元にお住いの被爆者の方々と協力し、被爆者と直接対話ができる被爆体験講話を実施しています。被爆者の生の声を聞き、その体験を次世代に伝えることで、平和への意識を未来に引き継ぐことができます。

③国定公園を散策

西中国山地国定公園に指定されている八幡高原で、樹齢200年を超えるブナが群生する原生林や、西日本随一の規模を誇る泥炭湿原を散策します。昭和初期に牧野富太郎博士も研究のため訪れた八幡高原では、様々な動植物を目にすることができます。

課題

①伝統芸能の後継者不足

少子高齢化により、神楽団や、ユネスコ無形文化遺産の壬生の花田植えを担う田楽団の後継者不足が進んでいます。
300年受け継いできた演目も、田植え歌も継承することが難しくなっているのが現状です。

②被爆体験伝承者の減少

原爆投下から80年が経過しようとし、被爆者の高齢化により、戦争の悲惨さや核兵器の非人道性を語る機会が減少しています。

③自然保護の重要性

環境省が選定した、「日本の重要湿地５００」に含まれる八幡地区では、開発や森林化等により湿原が半減しています。
近年、急速に損なわれている生物多様性について、その重要性を考えます。

北広島町の伝統を見つめ直そう
ー北広島町SDGs探求学習プログラムー

○体験プログラムのねらい

「広島神楽」は広島県を代表する伝統芸能であり、広島市中心部では毎週定期公演が行われ、観光客などで賑わっています。北広島町は神楽を上演する神楽団の団数が県内一であり、神楽どころとして有名です。しかし、過疎の町である北広島町では、どの神楽団も後継者不足で、存続の危機にあり、この課題について神楽団員等から情報収集し、課題解決を考える。

神社での神楽鑑賞

グループワークの様子

現役神楽団員へのインタビュー

○体験プログラムの流れと課題探求の手順

① 開始（自己紹介・体調確認）
② 北広島町の概要を理解する
③ 北広島町の文化や歴史について理解する
④ 広島神楽の概要を理解する
⑤ 広島神楽を取り巻く現状を把握する
⑥ 残していく必要がある伝統芸能であるのか考える
⑦ どんな課題が存在しているのか考える
⑧ 課題解決の障害はあるのか考える
⑨ 課題解決策を考え議論する
⑩ まとめの会（体調確認・感想発表）

○体験プログラムの教育効果

①北広島町の文化や歴史について理解する
②伝承への思いを理解する
③少子高齢化等の社会問題を理解する
④情報を整理し自分事として考え理解する
⑤設問をグループで考えるチームビルディング
⑥達成感、爽快感、充実感を体感する

○プログラムから伝えたいこと

①伝統芸能が果たす地域社会への重要性
②伝統芸能が持つ教育力
③異なる文化や歴史を理解することの意義

○受入人数　最大１００名
○所用時間　２時間程度

○　実施時期　通年（冬季は要相談）
○　神楽鑑賞時間は含みますが、神楽鑑賞料が別途必要となります
○　平日は夜の体験になります。※要相談

ＳＤＧｓを目指して行動変容に繋げたい事柄

被爆体験講話
―北広島町　SDGs探求学習プログラム―

○体験プログラムのねらい

被爆者の生の声を直接聴ける機会が限られてきています。広島に原爆が投下されてから80年が経過しようとし、被爆者の方々も高齢化が進んでいます。そのため、被爆体験を直接聴き、学ぶことができるのは、今しかない貴重な機会です。北広島町では、地元に住む被爆者の協力を得て、被爆体験講話を開催しています。この講話では、被爆者の方々と直接対話することで、より深く体験を学ぶことができます。

講話の様子

グループに分かれて講話体験

○体験プログラムの流れと課題探求の手順

① 開始（自己紹介・体調確認）
② 被爆体験と平和への思い。
③ 戦時下の人々の暮らし。
④ 原爆被害の概要。
⑤ 原爆の人体への影響。
⑥ 伝承者としての平和への思い。
⑦ 質問

○体験プログラムの教育効果

①平和な社会づくりを意識し、それに向けて努力する意欲が育まれる。
②被爆体験者の話を聞くことで、被爆者の思いや悲しみを感じ取る。
④平和についての意見や提言を発信する意欲や態度が育まれる。

○プログラムから伝えたいこと

①平和のために何ができるか
②被爆者の思い
③平和の大切さと人間の尊厳の理解

○　受入人数　最大１００名
○　所用時間　１時間程度
○　実施時期　通年（冬季は要相談）
○　体験会場　町内公民館等
町内施設（グループワーク）

ＳＤＧｓを目指して行動変容に繋げたい事柄

湿原トレッキング
―北広島町　SDGs探求学習プログラム―

○体験プログラムのねらい

西中国山地国定公園に指定されている八幡高原で、樹齢200年を超えるブナが群生する原生林や、西日本随一の規模を誇る泥炭湿原を散策します。昭和初期に牧野富太郎博士も研究のため訪れた八幡高原で、様々な動植物を目にすることができます。

トレッキングの様子

西中国山地国定公園「八幡原集団施設地区」

○体験プログラムの流れと課題探求の手順

① 開始（自己紹介・体調確認）
② 八幡湿原の説明（生息する動植物や地形・気候）
③ 自然保護の重要性を説明
④ トレッキングを体験。
⑥ 残していく必要がある取り組みであるのか考える
⑦ どんな課題が存在しているのか考える
⑧ 課題解決の障害はあるのか考える
⑨ 課題解決策を考え議論する。
⑩ まとめの会（体調確認・感想発表）

○体験プログラムの教育効果

①自然と共に生きる力の基礎づくり
②科学的に環境問題をとらえることができる
③情報を整理し自分事として考え理解する
④達成感、爽快感、充実感を体感する
⑤豊かな価値観の形成

○プログラムから伝えたいこと

①湿原の役割・存在意義。
②生物多様性の理解。
③自然を守ることの重要性。

○服装・装備・準備物

帽子・長袖上下ジャージ・運動靴・タオル・水分

- ○　受入人数　最大１００名
- ○　所用時間　３時間程度
- ○　実施時期　５～１０月
- ○　体験会場　八幡原集団施設地区

ＳＤＧｓを目指して行動変容に繋げたい事柄

北広島町　本部宿舎の紹介

宿舎としてのご予約は
当協議会にご用命ください

芸北オークガーデン　北広島町細見145-104　TEL0826-35-1230

夕食

露天風呂

部屋

施設見取図
（107号室は２部屋に分割可能）

立地

西中国山地国定公園がある芸北地域の中心に位置します。
（戸河内ICから30分）

温泉

天然温泉・露天風呂完備
中国山地の自然を感じながらリフレッシュできます

定員

客室７室・定員数３２名（４名部屋６室・８名部屋１室）

北広島町　本部宿舎の紹介

宿舎としてのご予約は
当協議会にご用命ください

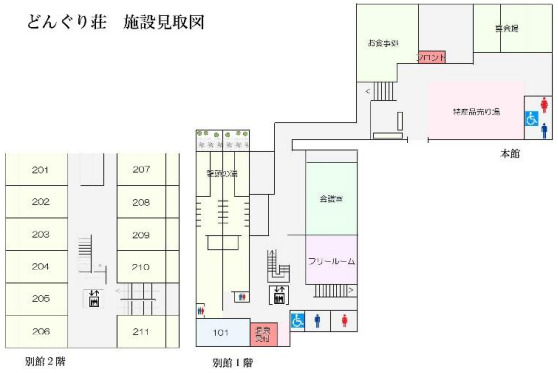
どんぐり荘

北広島町都志見12609　TEL0826-84-1313

部屋

夕食

露天風呂



施設見取図
本部宿舎としてのご予約は
当協議会にご用命ください

立地

北広島町のほぼ中心の道の駅豊平どんぐり村内に立地しています。
（広島北ICから20分）

温泉

豊平地域のシンボルである龍頭山を眺めながらゆっくりと入浴できます。

定員

和室４名定員：５部屋　和室３名定員：１部屋　洋ツイン２名定員：1部屋
洋二段ベッド８名定員：４部屋　計１１部屋：５９名

北広島町民宿分宿プラン

北広島町にある民宿を活用して、修学旅行生の受入が可能です。
民宿の多くは農家も兼ねており、民泊家庭と同じ雰囲気で生徒様を受け入れることができます。
北広島町の自然を活用した選択別体験と一緒にぜひご利用ください。

町内には１１の民宿があり、１００名の受入が可能です。
※１００名を超える場合は要相談

番号	民宿名	番号	民宿名	番号	民宿名
1	あるぺん屋	6	そよ風	11	上岡
2	くらたや	7	タニモト		
3	吉川	8	岡田屋		
4	憩	9	原		
5	谷広	10	岡杖		

申込先：北広島町農山村体験推進協議会事務局
北広島町役場商工観光課・北広島町観光協会
電話0826-72-7368

○○高等学校　御中

令和７年度修学旅行

	生徒	教職員	カメラマン	医師	合計	添乗員	バス
人数	名	名	名	名	名	名	名

旅行費用見積額
約＝77,000円（税込）

ご旅行先　広島方面

旅行期間(仮)　2025年9月16日（火）～19日（金）
3泊4日（内　民泊2泊）

日次	月日(曜)	行程	備考	食事
1日目	9/16（火）	7:30 学校 ▬▬ 8:40 名古屋駅 ▬▬ 11:00 広島駅【昼食／お好み村】 ═══ 13:00～15:00 平和公園・記念資料館 ═══ 15:15 中広ＩＣ【広島高速4号線】 ═══ 16:20 大朝地域づくりセンター ═══ 16:30～17:00 SDGsプログラム導入 ※神楽の紹介 17：00～17：30 対面式 ・・・・ ≪民泊体験≫【夕食作り／交流など】		朝：× 昼：○ 夜：○
2日目	9/17（水）	8:30～19:00 家業体験・食事づくり ・・・・ 19:30～20:30 SDGs取組プログラム ≪北広島町の神楽に学ぶ、文化継承の取り組み≫ ・・・・・ 21:00～ ≪民泊体験≫【入浴／就寝など】 野菜の定植、畑の耕耘、鳥獣対策、草取りなどの屋外活動および屋内での柏餅づくり、竹細工などの物づくり 	※平日の日中は、神楽団の手配が大変難しいため、体験は日没後の開始となります。ただし土日祝の場合はその限りではありません。	朝：○ 昼：○ 夜：○
3日目	9/18（木）	8:30～11:30 家業・生活体験 ・・・・・ 11:00～12:30 昼食づくり【昼食】 ・・・・・・ 13:30～14:00 SDGsプログラム報告 ※生徒から神楽の研究報告。 ・・・・・・ 14:00～14:30 離村式【大朝地域づくりセンター】 ═══ 16:10 広島駅 ▬▬ 17:30 新大阪駅 ▬▬ 18:30 ＵＳＪ(ホテル) 		朝：○ 昼：○ 夜：○
4日目	9/19（金）	9:00～15:30 ＵＳＪ班別行動 ▬▬ 16:45 新大阪駅 ▬▬ 17:34 名古屋駅 ▬▬ 18:30 学校 		朝：○ 昼：× 夜：×

●記入例　／　═══ バス　▬▬ 電車　・・・・・その他